

今月は、食べ物の絵本をご紹介します。

『おすしやさんにいらっしやい!』

おかだ だいすけ／文 遠藤 宏／写真 岩崎書店 2021年 ¥1600(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児★★☆ 小低学年★★★★ 小中学年★★★★ 小高学年★★★★ 中学生★★☆

高校★★☆ 一般★★☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

お寿司屋さんのカウンターで、子どもたちは魚がお寿司になっていく様子を、見て、さわって、においをかいで、そして最後に美味しくいただきます。普段よく目にする切り身でなく、丸ごとの魚はこうして食べ物となって自分の命のもとになっていくのだと実感していく子どもたち。その驚きと喜びの生き生きとした表情が素晴らしい、臨場感あふれる写真絵本です。作者は、お寿司屋さんで、魚をさばいて料理に仕上げるまでを子どもたちに見せ、自分たちの命がたくさんの命からできていることをお寿司を通して伝える活動をされています。

<子どもに手渡す時のポイント>

美しい写真でわかりやすく構成されており、魚に興味のある子もそうではない子も、小さい子から大人まで、まるで自分もお寿司屋さんのカウンターと一緒に座って見ているかのように、ワクワクしながら魚について学ぶことができます。命をいただくことについて考えるきっかけとしてもおすすめの本です。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

